



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

NOW

●vol.7

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

- 1 夢見ることから始めよう
- 2 座談会 語り合おう、宇大の魅力
- 4 ベストティーチャーに聞くⅢ
- 5 SLOW FOOD
- 6 学生アンケート「宇大生は今！」
- 7 INFORMATION
- 8 研究 Keyword

ロックバンド

キャプテンストライダム

夢見ることから始めよう



数千人の若者たちが熱狂していた。頭上で手を打ちたたき一斉に体でリズムをとる。会場が一体となって大地を踏み鳴らす。真岡市井頭公園に特設された「ペリテンライブ」のステージで演奏するロックバンド「キャプテンストライダム」。音楽に夢を託し、プロデビューを果たした実力派。宇都宮大学「Band Stand うたう会」の先輩たちである。コンサート会場の控え室での取材は、学生時代の秘密で話題沸騰！（取材：農学部3年・角川雄亮/工学部3年・久江裕之）

凱旋ライブ in 峰ヶ丘祭

11月26日(日) 宇都宮大学第一体育館 開場17:00 開演18:00
全席指定 前売2800円/当日3300円 フリップサイド宇都宮028-633-1009

CAPTAIN STRAYDUM PROFILE

■永友聖也 (ナガトモセイヤ) Vocal & Guitar (写真中央) 1976年生まれ。宮崎県北諸県郡出身。宇都宮大学工学部応用化学科卒業。
■梅田啓介 (ウメダケイスケ) Bass & Chorus (写真左) 1978年生まれ。秋田県能代市出身。宇都宮大学国際学部国際文化学科卒業。
■菊住守代司 (キクズミモリヨシ) Drums & Chorus (写真右) 1978年生まれ。熊本県熊本市出身。宇都宮大学工学部情報工学科卒業。
1999年、宇都宮大学「Band Stand うたう会」にて結成。2003年、松本隆主宰の「風待レコード」よりデビュー。06年、2ndアルバム「108DREAMS」を引き上げ全国11カ所を巡るワンマンツアーでは各地チケットSOLD OUT続出。ライブはもちろん、テレビ・CM・ラジオ番組などさまざまな分野で活躍。最新シングル「恋するフレミング」絶賛発売中！

■部室は大切な場所
「突き抜けるようなステージ、我を忘れるようなお祭りといったと思っっています。学生時代は、ただ、ただ、演奏させてくださいとお願ひしていましたが、今は呼んでいただけありがたい立派。学生時代とは違うところを見せます。」

■迷ってもいい
彼らの学生生活はロック漬けではあったが、また良く学んでいた。「正當な流れみたいなのがあると思うのですが、それ以外の方法もあるかなと思っ」と話す菊住さんは、工学部の

■部室は大切な場所
「突き抜けるようなステージ、我を忘れるようなお祭りといったと思っっています。学生時代は、ただ、ただ、演奏させてくださいとお願ひしていましたが、今は呼んでいただけありがたい立派。学生時代とは違うところを見せます。」

■迷ってもいい
彼らの学生生活はロック漬けではあったが、また良く学んでいた。「正當な流れみたいなのがあると思うのですが、それ以外の方法もあるかなと思っ」と話す菊住さんは、工学部の

■迷ってもいい
彼らの学生生活はロック漬けではあったが、また良く学んでいた。「正當な流れみたいなのがあると思うのですが、それ以外の方法もあるかなと思っ」と話す菊住さんは、工学部の

た。そして、梅田さんも「要するに、今日の『ペリテンライブ』のようなライブがやりたかったから、ミュージシャンになったんです。じいさんになっても、ずーっとやり続けたいと思っっている」と話す。
■宇都宮大学が僕たちの原点
最初のドラマーが脱退したため、代わりにメンバー入りした菊住さんが「サークルとして活動していた時と、音楽が仕事となった今とはまるっきり違う。こんなにおもしろい仕事はないと思っっている」ときっぱりしかし、「もう少し大学で色々な勉強をしておけば、もっと良かったかもしれない」と付け加えた。
プロデビューしてから約4年、レコーディング、ラジオのレギュラー、ツアーコンサートと、日本中を飛び廻る「キャプテンストライダム」。
「僕たちの原点はこの宇都宮大学です。恩返しができたような思っいです。僕たちの音楽を聴いてくれた学生たちが、自分も何かできると思ってくれたら、勉強、バイト、サークル、なんでも何か頑張るきっかけになってくれたらと思っいます。学生時代は社会に出る前の悩める時。先輩たちにも、悩む時間を大切にしたい。そしてたくさん考えてほしい」と、自らの経験を重ねて語る永友さん。
「瞬間」がテーマの今年の峰ヶ丘祭。彼らの突き抜けるような音楽がキャンパスを揺さぶる。我を忘れて楽しもう！
GO GO GO!!
キャプテンストライダム！

文：ビオス編集室
写真提供：ソニーミュージック
アシリエイテッドレコーズ

CAMPUS



座談会

語り合おう、宇大の魅力 「地域貢献度総合1位になったこと」の誇り

今夏、「日経グローバル」が大学の地域貢献度ランキングを発表しました。そのトップに輝いたのが宇都宮大学です。住民向けの講座、地元企業との共同研究などが高い評価を得た、その背景を二人の理事に伺いました。

大学の敷居の高さを 取り払って貢献したい

廣田 本日は水本先生、西田先生の二人の理事にお越しいただきました。僕たちはちょっと緊張気味なんです、よろしくお願いたします。

水本・西田 こちらこそ、よろしくお願いたします。

中山 さっそくですが、今年、日経産業消費研究所が発行する「日経グローバル」において、宇都宮大学が「大学の地域貢献度」総合1位に輝きました。とても名誉なことだと思います。お二人の率直な感想を伺いたいです。

水本 もちろん、何よりも誇りに思います。ランキング上位の大学を見ると、全体に西高東低です。本学は東日本にありながら、トップになった。今後も、

その座をできるだけ守っていきたいと思いますね。

西田 こうしてジャーナリズムが取り上げてくれて、全国から「頑張ったね」と言われるのはうれしいことです。宇大は巨大な大学ではないけれど、いろいろな個性的な授業を行っていて、講師陣にもそれぞれ特色があります。地域の大学ということを感じ、一人ひとりが頑張っているから高く評価されたと思います。

中山 では、地域との連携や貢献に対し、どのように考えられているのかお聞かせください。
水本 われわれの研究の成果を栃木県や宇都宮の人たちにだけお返しできるか、そして栃木県全体の大学で協力できることは何なのか、などを考えることが大切ではないでしょうか。大学は敷居が高いというイメージがあります。しかしそれを取

り払い、研究の成果や学問などの財産を、地域が行っていることと結び付けながら貢献していくことです。

たとえば教育学部は、地域の小中学生の勉強の支援をしています。工学部では、ものづくりなどを通して子どもたちに楽しさを教えている。また農学部は農場・演習林などで、保護者の方と一緒にさまざまな学習に取り組んでいます。こうした総合的に地域の力を引き上げられればいいですね。

さまざまな種を、 企業や自治体とともに

廣田 ありがとうございます。西田先生はいかがですか？
西田 地方の大学は、中央の大学と同じことをやっても意味がないと思います。本学のキャッチフレーズに「豊かな発想を地

域に、新たな知を世界へ」とあるように、地方大学は上手に地域と共生してはいけないでしょうね。

実は、栃木県は全国でも上位に位置する裕福な県なんです。世界的な自動車や家電、OA機器、航空機メーカーなどがありますから。しかし、その豊かさのために、何もしなくていいという意識が芽生えてしまうことがあります。それを見越してはいけないと思います。

一方、栃木には昔から地域に密着した企業もあります。われわれは、さまざまな種（シーズ）を持っている。その種を地元企業や自治体と一緒に育てていくのがベストではないでしょうか。産・官・学が、ひとつになることです。
水本 まさにそうですね。たとえば宇都宮市は、※財政力指数が約1.0と高いのです。国内



おいでよ！森のがっこうへ



足尾緑化事業



公開講座



お米と果物とミルクの不思議体験教室



イチゴ摘みロボット

※財政力指数：地方公共団体の財政力の強弱を示す値。財政力指数が1に近いほど（または1を超えるほど）財源に余裕があるものとされる。

CAMPUS

宇都宮大学の地域貢献の例

- ・小中学校教育支援活動
- ・ものづくり支援活動
- ・アグリカレッジ
- ・公開講座、大学開放事業
- ・地元企業との共同研究
- ・特許相談
- ・足尾緑化事業への参加
- ・観光ボランティア活動 など

●出席者

水本忠武/宇都宮大学理事(企画戦略担当)兼副学長
西田 靖/宇都宮大学理事(研究・国際交流担当)兼副学長
中山未来/農学部森林科学科4年
廣田真人/農学部生物生産科学科2年



理事(企画戦略担当) 水本 忠武



理事(研究・国際交流担当) 西田 靖



農学部4年 中山 未来



農学部2年 廣田 真人

大学の地域貢献度ランキング 総合1位を獲得!

日経産業消費研究所が発行する「日経グローバル」(6月5日発行)が行った、東京都を除く全国の国公私立大学135校の調査で、宇都宮大学が地域貢献度の総合1位にランキングされました。

- 地域貢献を担当する役職員及び基幹センターの設置状況、地域問題を教えるコース、地域の研究課題公募制度など「組織・制度」に関する項目で高得点
- 地元企業などを行った教員100人あたりの共同研究件数第1位 など

1位 宇都宮大学

2位 北九州市立大学 3位 鳥取大学 4位 九州大学 5位 梅光学院大学...

現場に入り込んで学ぶ「実学」の重要性

現場に入り込んで学ぶ「実学」の重要性

廣田 では、お二人がわれわれ学生に対し、地域貢献に関して期待するものとはどんなことでしょうか?

水本 地域をよく知ってもらうこと。キャンパス内だけで終わるのではなく、農学部であれば「栃木県の農業とは?」「農業経営ってどういうものなんだろ?」など、広い視野に立つてほしいですね。

これまでに宇大農学部が輩出した先輩たちの中で、特に3人の人が有名です。コシヒカリを開発し、最終的に品種固定した石墨慶一郎先生、除草剤開発の神様と呼ばれた竹松哲夫先生、日本での受粉卵移植技術におけるパイオニアである杉江信先生。先生方は、まさしく時代の先端を走っていました。そして共通するのは、実際に田んぼに入る等「実学」がベースになっ

ているということ。だから皆さんも地域の中に入り込み、そこで必要なものは何なのか、ということを考えてほしいですね。

また、那須烏山市と包括協定を結んでいます。教育学部の学生達が土・日に現地に出席して小中学生をサポートしています。子どもたちに学問を教えつつ、何かしらの課題を持ち帰るというのも、今では味わえないことではないでしょうか。

西田 研究のテーマは身近なところに多く存在していることに気付くことです。栃木ですと雷や大谷石の研究もそうですね。

昔から「雷が多いときは豊作」と言われ、そのことを農家の人たちは良く知っていました。雷はおおよそ3日かけて放電をしますが、それまで約10日間かけてエネルギーを蓄積します。そしてその際、空気中のプラズマという天然の飼料ができています。また、宇都宮の特産品「大谷石」からは石粉や石屑が出ます。それらをどのように使うかなど、例を挙げたら本当にたくさんあります。

今、こうしてあなたたちとの出会いがあったけれど、研究テーマもそう。何が転がっているか分からないわけです。そしてそれらの研究は先生一人ではできません。みんなの意見を汲み



右上/電子工作教室
左上/学習支援
左下/サタデースクール

上げて成り立つわけですね。研究室では、学生たちがヒントやテーマをくれるケースも少なくありません。先生と議論し合いながら全員で磨き合うこと。皆さんには、もっともっと、どんな欲になってもほしいと思いますね。

水本 確かに現場には課題がごろごろして、まさに教育・研究テーマの宝庫です。卒論のテーマを地域から募集し、それに対してまとめるといったのもおもしろいですね。

西田 世界中の大学で「地方と生きる。地方が発展するこ

とは大学が発展すること」と見直されています。中国・上海の水産大学では、上海市に貢献することで、50%の資金を上海市から援助してもらっています。それほど地域と密着しているわけですね。

水本 なるほど。学生と地域

宇大という看板を背負っている意義

水本 では、あなたたち学生からこの宇大に対して要望などはありますか?

廣田 高大連携というシステムは魅力です。こういう場をもっと広げてほしいですね。僕が卒業した農業高校は実技が多かったのですが、高大連携で学問も知ることができた。それが宇大に興味を持つ大きな要因になりました。栃木県の将来を支えていく子どもたちにも、このような場の裾野を広げてほしいです。

中山 私は、地域がどうい

の双方向的な関係をつくるのはいいですね。大きな会場を借りて、栃木県の大学が合同で卒論発表などを行うのも一案でしょう。みんなのコミニケーションもとれますし...

また、これまでのことをさらに継承していくことも大切です。高根沢町と農学部では子どもたちとの環境学習も始めました。自治体が抱えている問題の解決に、より深く関わっていきたいですね。

西田 地域の人から学ぶことはたくさんあります。そして学生の立場から地域の問題や大学に関することを、われわれにも教えてほしいですね。すると大学の長所・短所も見えてくる。それで大学が活性化してくるわけです。皆さん、必ず何かしらの興味があるはず。仲間たちと一緒に興味を持ってください。アクティブな人は成績もいいんですよ(笑)。

皆さんには「宇都宮大学」という看板を背負っていることを忘れないでほしいですね。そして、その看板を自分で磨くことが大切だと思います。

中山・廣田 本当にいろいろ勉強になりました。本日はどうもありがとうございました。



かんぴょう

—生産量の減少と失われる原風景—

海苔巻きの芯や煮物などの食材として使われている「かんぴょう(干瓢)」は、栃木の有名な農産物です。宇都宮の南に位置する壬生や上三川では、かんぴょうの生産が昔から盛んです。この地域に広がる初夏のかんぴょう畑は、栃木に住む人々の原風景でした。しかし、海外からの安い農産物の輸入により日本の農業が大きく変化してきたように、栃木に根付いたこのかんぴょう畑も、その姿を失いつつあります。



かんぴょうは昔から日本の食材として根付いています。たとえば、広重による東海道五十三次の水口の宿では、かんぴょうをむいて干している様子が描かれています。日本を代表する詩人の北原白秋も、「かんぴょう かんぴょう かんぴょう 干してる あの空 この空 かんぴょうはしろいよ…」と、かんぴょうを題材に作詞しているのをご存知でしょうか？(曲を聴きたい人は<http://www.ocarina.cc/kanpyo.html>にあります。)

かんぴょうは、起源を西アフリカ及び亜熱帯アジアに持つ、うり科ひょうたん属に分類される一年生の雌雄同株の植物です。今から約300年前の正徳2年(1712年)、滋賀県水口の城主、鳥居伊賀守忠英が幕命で壬生に配置換えになると、殖産興農の趣旨によって、かんぴょうの種を壬生の黒川のほとりに植えさせたのが栃木でのかんぴょう生産の由来だとされています。かんぴょうは栃木の風土や気候に合った農産物です。水はけのよい関東ローム層、初夏の雷をとまなう激しい夕立、昼間の日射量、乾燥した空気、落葉堆肥を作るための落ち葉を集めやすい平地に林が広がる環境、昼間と夜中の寒暖の差の激しさなどがかんぴょうの生産に向いているためです。そのため、国内のかんぴょうの生産拠点は関西から栃木へと移ることになったのです。

かんぴょうは元根だけでなく、途中から根が張って全体に栄養を行き渡らせる結構タフな農産物で、冬に野菜がないときの保存食として活用されてきました。食物繊維量はかんぴょう100gあたり30gと豊富で、他の野菜との比較では、ごぼうや切干大根より多くなっています。また、カルシウム、リン、カリウムが特に豊富です。忍者で有名な甲賀の里の近くに位置する滋賀県の水口では、乾燥させたかんぴょうの強度が強いことを利用して、忍者が使う縄として、そしてその縄を忍者の非常用食料として(水に戻すと膨れるため腹持ちが良い)活用していたという言伝えがあります。

かんぴょうは自分自身の味が無い、引き立て役の食材としてさまざまな料理に活用されてきました。特に、海苔巻きとの相性が良く、シャリとかんぴょうの水分の移動によりシャリの水分を一定に保つ性質があるため、巻



ひょうたん型のかんぴょう

き寿司やイナリなど、盛んに用いられるようになりました。現在流通しているかんぴょうを大別すると、業務用93%、市販用7%であり、ほ

とんどが業務用となっています。コンビニ弁当のおかず、寿司の味付けかんぴょうや昆布巻きやロールキャベツ、巾着もちなど、料理を結ぶ食材として利用されています。

現在の栃木県のかんぴょうの生産量は年間373t、全国の約98%を占め、そのうちの約3割を、今回取材でお世話になった株式会社ヤマケさん(壬生町)が取り扱っています。昔のかんぴょう生産は、それぞれの農家が小規模ながら自ら加工、乾燥、出荷までを行っていました。しかし、外国産、特に中国からの安いかんぴょうの輸入によって、国内のかんぴょうの消費量自体はそれほど変化していないにも関わらず、かんぴょうを生産する農家が激減することになりました。昭和50年(1975年)には栃木県での作付け面積が2,630haありましたが、平成17年(2005年)には243haと約1/10にまで減少しました。現在は、高齢化が進んだ農家の方々によって細々と生産が続けられています。

高齢化した農家にとって、かんぴょうの生産は負担の重いものになります。かんぴょうの栽培はなんとかなるものの、重いかんぴょうの収穫と運搬(昔はかごを背負って、その中に1個8kg程度のかんぴょうを丸ごと10個ほど放り込んでいた、なんと約80kg…)、そして、早朝(といってもほとんど夜中から)作業を行うかんぴょうの皮むき、天日干しなどの作業は大変な重労働となります。そこで、かんぴょう農家はこのような作業を外部へ委託する他なく、ヤマケさんのような一箇所で集中的に作業を行うかんぴょう加工所が必要になるのです。



専用の機械で薄く長く皮をむく

かんぴょうの皮むきでは、モーターの軸にかんぴょうをセットし、刃の固定レバーを操作すると、上から順に段階的にかんぴょうが薄く長く、効率良くむかれていきます。現在のかんぴょうむき機は、手廻しのかんぴょうむき器がモーターの利用によって進化したものです。

私も取材のときに操作をさせてもらいましたが、初めての人にはなかなか難しく、決して使い勝手の良いものではありません。だからといって、今以上の効率を高めた機械への要望は少ないようです。機械が高性能になってしまうと、必ずその機械の価格が高くなります。機械が高くなれば、その影響でかんぴょうの価格が高くなってしまい、かんぴょう生産がますます難しくなってしまうからです。また、人間がかんぴょうの皮むきに直接かわることのできる箇所がどんどん減ってしまい、動作や改善のための柔軟性が損なわれてしまうからだそうです。「かんぴょうは自然の農産物だから、かんぴょうむきの機械を通じて自然を(かんぴょうを)感じることができるといいですね」という毛塚社長の言葉は含

蓄のあるものでした。

かんぴょうは、薄くて長い短冊状にむき、ビニールハウス内で乾かすのが一般的です。1個約8kgのかんぴょうの実(夕顔の実)は、約50~60gの乾燥したかんぴょうになります。目安としては、畑の面積が10アールで200kgの製品ができる計算です。昔は、基本的に農家は天日干しだったのですが、乾燥途中で雨が降ったりするとすぐに商品価値がなくなってしまうため、現在はハウス内での乾燥がほとんどです。

また、ハウスは鳥の糞による鳥害を防ぐこともできます。ハウス内では太陽の光をそのまま利用する場合と、換気扇をつけて強制乾燥させる方法、さらには乾燥時間を短縮させるために温風ヒータを利用するものもあります。石油の値段が高くなると、この乾燥方法によって収益が少なくなることもあるようです。天日干しとハウス内での乾燥とでは品質に差が出るかとの質問に、「かんぴょうに直接太陽光を当てることで繊維質がしまり、上質のかんぴょうができるようだが、残念ながらきちんと調べたことはない」とのことでした。



ビニールハウス内でのかんぴょうの乾燥

見た目が良くないと、かんぴょうは商品化することができません。昔ながらのかんぴょうは、もちろん、何の添加物も使用していません。しかし、漂白、防腐効果のある硫黄燻蒸を行うと、やや黄色がかったかんぴょうが白くなり(当然見栄えが良くなる)、半年近く保存が利くようになります。この硫黄燻蒸の技術は今から60年も昔に確立されたものです。輸入物のかんぴょうはほぼ100%、硫黄燻蒸がなされています。もちろん、硫黄燻蒸には厳しい基準があり、その基準を満足しなければ輸入はもちろん、販売もできません。しかし、科学的に安全性が立証されていても、どうせ食べるなら無添加のかんぴょうを食べたいのが本心だと思います。でもその場合は、日本で生産され、価格が高く、やや黄色がかった、そして日持ちの悪いかんぴょう(2~3週間しか持たない)を購入し、食材として利用する必要があります。

ヤマケさんは、地元のかんぴょうの加工請負だけでなく、業務用として中国から乾燥させたかんぴょうを輸入、加工し、販売も行っています。国内産は主に家庭用として取り扱われています。ヤマケさんは、はじめは中国ではなく韓国での生産を考えていましたが、韓国は日本と同様に経済発展が進むのが早かったため、価格が日本と比べて1/5になる中国へと生産拠点を移したということです。国の経済発展によってかんぴょうの生産力が低下するという皮肉な現象が、日本から韓国、そして中国に起ころうとしています。今後は、タイ、フィリピン、北朝鮮などにも進出する予定だそうです。なぜなら、人件費が安く、手先が器用でかんぴょう生産に向いているからということです。

私たちは、便利で安い食材を追い求めてきました。栃木のかんぴょうは、すでに失われつつある食材として十分スローフードとして位置付けられるように思います。かんぴょう畑とかんぴょうが干されている風景を、今後も栃木の初夏の風物詩として維持していくことは、私たちの努力なしにはありえないように思います。

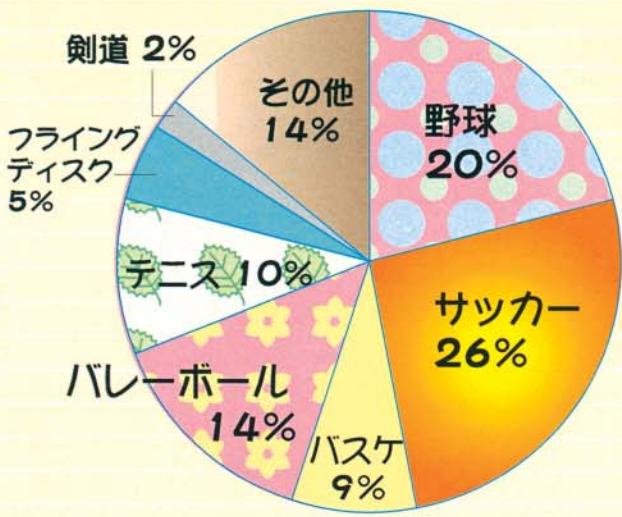
(農学部 野口良造)

宇大生は今は!

あなたの秋はなんですか?

今回は「○○の秋」というテーマで宇大生にアンケートを実施しました。秋はさまざまなことを始めるのに最適な時期です。読書の秋? 食欲の秋? スポーツの秋?...さまざまな秋がありますね。あなたの秋はどんな秋ですか?

スポーツの秋



今年はスポーツが熱いですね。WBC日本一を始め、世界バスケット、大人気のサッカー、フィギュアスケート、ハンカチ王子などなど、スポーツは今、注目を浴びています。宇大生も、部活動やサークルで多くの学生が汗を流しています。人気のスポーツはサッカー、野球、バレーボールなど、世界で多くの日本人が活躍している競技が上位にあるようです。その他には日光アイスバックスなどのチームがあるアイスホッケーやスケルトンなど、ウィンタースポーツが好きなという解答もありました。

読書の秋



- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1位 | ハリーポッターシリーズ | 32人 |
| 2位 | 涙そうそう | 9人 |
| 3位 | ゲド戦記 | 9人 |
| 4位 | 東京タワー | 4人 |
| 5位 | ホートン生化学 | 4人 |

1位は映画でも大ヒットとなった「ハリーポッターシリーズ」です。ストーリーは長編ファンタジーとなっていますが、大学生にも読みやすく楽しい内容となっています。続編が楽しみです。2位は「涙そうそう」です。最近映画が公開されたので、併せて読んだ人が多いでしょう。映画を見た人からは、感動した、泣けた、という感想が多く聞かれました。本ではどうでしょうか? 同率2位は「ゲド戦記」です。宮崎吾朗監督の初監督作品の原作ですね。ジブ

リ好きの人は見た人が多いのではないのでしょうか? 4位は「東京タワー」です。リリーフランキー著のものと、黒木瞳主演映画の文庫版がありますが、どちらを読んだのでしょうか? どちらも東京を舞台とした作品です。日々の生活に疲れた人にはジーンと染み込む本です。同率4位は「ホートン生化学」です。本というか、これは参考書ですね。(笑) 私も見たことがあります。分厚くて、内容が濃くて、値段も高い参考書でした。買った人もまだ読み切れてはいないと思います。よほど「買った」という印象が強かったのでしょうか。

今回の結果では、映画で公開されたものの書籍版というところで読んだというものが多かったようです。どちらを先に見るかは人それぞれでしょう。『本は人生を豊かにする』とよく言います。学生時代にたくさん本を読んで、知識を深めるとともに、たくさん考える機会を持つといいですね。教科書・参考書を買ったみなさんも、宝の持ち腐れにならないようにしっかりと勉強してくださいね!

食欲の秋

人気メニューベスト3

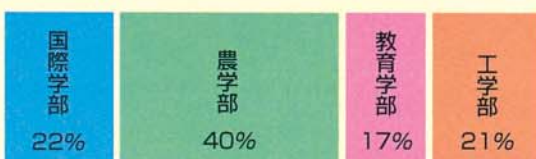
- しょうが焼き丼
- チキンカツ
- 豚肉とキノコのガーリック炒め

これからのオススメメニュー

- クリスマスフェア
- 麺祭り
- ホタテクリームシチュー

宇大生が利用する生協食堂。ここには安価で美味しいメニューがたくさんあります。ポリュームたっぷりのメニューが人気ですね。やはり強いのは定番メニューのしょうが焼き丼・チキンカツが1・2位を独占しています。しかし季節のメニューである豚肉とキノコのガーリック炒めが第3位と健闘しています。これからの食堂のメニューも多くのフェアや新メニューが予定されています。今年もあと残りわずか。食欲の秋にいっぱい食べて栄養をつけて今年を乗り切ろう!

アンケート対象 計134人



〔アンケート集計・文〕
農学部2年 廣田真人 / 農学部4年 中山未来



急募!

一緒にUUnowを作ませんか?

こんにちは! 「宇大生は今!」を担当している、中山です。私たちは3ヶ月に一回発行されるUUnowに合わせて、宇大生にアンケートを行って、「宇大生の今!」を受験生・在校生・卒業生そして地域の方々に発信しています。このコーナーの他にも、一面を飾る宇大卒業生の方へのインタビューや各号特集記事の編集などを行っています。

卒業生の方とお話するのはとても緊張するのですが、毎回、普段の生活では決してできないような貴重な楽しい経験をさせていただいて

ます。UUnowは宇大広報紙です。宇大を大学だけでなく、学生の立場からもアピールしていきたい! そんな思いで楽しく活動しています。

みなさんも広報委員の一員として一緒に活動してみませんか? いつでも優しく歓迎いたします! 一緒にUUnowを作しましょう!

少しでも興味を持たれた方は、こちらまでご連絡ください。

E-mail: plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
学生広報委員 廣田・中山
総務課企画広報係

第58回峰ヶ丘祭 テーマ「瞬煌」(しゅんこう)

日頃、何気なく毎日過ごしている人々が、今回の大学祭をきっかけにほんの一瞬でも自己の煌きを放ってほしい。そして、未知の可能性に気づき、夢と自信を改めて確認することでその「煌めき」を一瞬のものとしてではなく、自らの魅力としてずっと放ち続けてもらいたい。ということをお願い、このテーマに決定しました。

日時：11月25日(土)～26日(日) 10:00～18:00
場所：宇都宮大学 峰キャンパス



●お問合せはこちらまで●
宇都宮大学大学祭実行委員会事務局
TEL 028-634-5877

野外特設ステージ タイムテーブル

	25日(土)	26日(日)
10:00～	開会式 宇都宮大学吹奏楽団	合気道部
11:00～	本部企画 なんばしよつと!!	FUSS サークル大抽選会
12:00～	MSC 合唱団stella	さーくる等 日本舞踊
13:00～	TAKAHIRO ELLIE's scramble stone	軽音楽研究会 Band Stand うたう会
14:00～	現音	極楽マシーン
15:00～	ブルースロック同好会	本部企画 It's(笑)time dooole
16:00～	博多華丸・大吉、あべこじ POISON GIRL BANDライブ	
17:00～	チキチキビンゴ大会	

25日(土)の10:00より開会式があります。
25日(土)の「ELLIE's scramble stone」、
26日(日)の「極楽マシーン」は学外団体です。
26日(日)のチキチキビンゴ大会は16:30から行います。
26日(日)のビンゴ大会終了後に閉会式を行います。
是非ご参加ください。

※諸事情によりスケジュールが変更になる場合があります。
野外特設ステージ横のタイムテーブルにてご確認ください。

26日(日)13:00～
「トークショー」
漫画家
江川達也先生
農学部棟3101教室

保健管理センター 講演会

「身近なエイズの話
～若者に広がる性感染症」

日時：11月25日(土) 13:30～15:30
場所：宇都宮大学 農学部3101教室
講師：自治医科大学血液科・感染症科 外島 正樹 氏

入場無料

●お問合せはこちらまで●
宇都宮大学保健管理センター
TEL 028-649-5123

卒業研究・修了研究 公開発表会

2006年度
宇都宮大学教育学部音楽教育専攻・
大学院教育学研究科修士課程音楽教育専修

日時：2007年2月10日(土) 時間未定
場所：宇都宮市文化会館小ホール
対象：一般
募集人員：ホール定員500席(500名)

入場
無料

●お問合せはこちらまで●
宇都宮大学教育学部音楽教室
TEL 028-649-5356/FAX 028-649-5244
E-mail music@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

教育学部 教員養成GPフォーラム

「授業改革と地域連携による相乗的な質的向上を目指して」

日時：12月9日(土) 10:00～17:00
場所：宇都宮大学 大会館・国際学部E棟
全体会：シンポジウム

「地域教育界との連携が教育学部・教育学研究科を活性化する」
10:00～12:30

パネリスト

飯田 宣氏(栃木県総合教育センター研究調査部主幹)
熊倉 仁氏(宇都宮市教育センター指導主事)
九津見幸男氏(宇都宮市立石井小学校長)
月井 順一氏(那須塩原市立東那須野中学校教頭)
松本 敏(宇都宮大学教育学部教授(スクールサポートセンター長))
コーディネータ 橘川 眞彦(宇都宮大学教育学部教授)

分科会：第1部 13:30～15:10

- 学士課程の授業改革Ⅰ ●教員採用率向上のための改革
- 大学院修士課程の授業改革Ⅰ ●スクールサポートセンター
- 第2部 15:20～17:00
- 学士課程の授業改革Ⅱ
- 学士課程の授業改革Ⅲ
- 大学院修士課程の授業改革Ⅱ

懇談会：17:30～

申込み：所属機関名、お名前、全体会への参加の有無、参加する分科会及び懇談会への参加の有無を記入してFAXにて送信してください。

参加無料

●お問合せはこちらまで●
宇都宮大学教育学部 教員養成GPフォーラム担当
TEL 028-649-5248/FAX 028-649-5244

ふれあい祭り

日頃の学習の成果を発表するとともに、本校児童生徒の様子を地域の方々にご理解いただくことを目的とし、学校祭「ふれあい祭り」を実施いたします。皆さんお誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

日時：11月25日(土) 9:20～14:25

場所：宇都宮大学 教育学部附属養護学校体育館及び作業棟他

内容：児童生徒の演技発表、作品展、作業作品販売、模擬店他

日程：9:20～10:25 オープニング、児童生徒の演技発表
10:45～ 中・高等部作業作品販売
11:10～ 模擬店
12:30～14:00 バザー、手作り作品販売
14:10～14:25 フィナーレ

・事前の申し込みは必要ありません。
・どなたでもご参加いただけます。

入場無料



●お問合せはこちらまで●
宇都宮大学教育学部附属養護学校
宇都宮市宝木町1-2592
TEL 028-621-3871

卒業・修了制作展

2006年度
宇都宮大学教育学部美術教育専攻・
大学院教育学研究科美術教育専修卒業・修了制作展

期日：2007年3月2日(金)～4日(日)

場所：栃木県総合文化センター
対象：一般
内容：絵画、彫塑彫刻、デザイン(インテリアデザイン・ベーシックデザイン)
工芸(漆・染)等約50点

入場
無料

●お問合せはこちらまで●
宇都宮大学教育学部美術教育教室
TEL 028-649-5360
FAX 028-649-5244

来春開設！ キヤノンとの連携 オプティクス教育研究センター

光学に関する教育研究センターを陽東キャンパスに設置します。

本学とキヤノンが協力し、基礎から先端技術まで光学分野全般に関する教育・研究を行い、産業界のニーズに応える技術者育成を目指します。



保育園開園!

- ・地域住民の保育ニーズに資することにより、地域の子育て支援機能の一翼を担います。
- ・幼稚園教諭と保育士の資格併有の促進を図ります。
- ・附属の幼稚園・小学校とあわせ「幼保小連携」の取組・研究を行います。

お問合せ：社会福祉法人峰陽会「宇都宮大学まなびの森保育園」TEL 028-635-4152

11月1日、峰キャンパス構内に
「宇都宮大学まなびの森保育園」が
開園しました。



宇都宮大学ロゴマーク募集!

宇都宮大学は、「豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ、宇都宮大学」をキャッチフレーズに、教育研究の充実、地域貢献及び産学官連携の推進など、魅力ある大学づくりを進めています。これからも躍進し続ける宇都宮大学を、学生の皆様、そして地域の皆様によりいっそう親しみを感じていただくためのシンボルマークとして、皆様の自由な発想で宇都宮大学をイメージしたロゴマークを募集します。

採用されたロゴマークは、ホームページ、各種出版物、封筒、レターヘッド、宇都宮大学グッズなど広範囲に使用する予定です。皆様のたくさんのご応募をお待ちしております。

- 募集する作品/宇都宮大学をイメージしたロゴマーク
(イメージする図形やイラストとインシヤルや簡単な文字を含んだデザイン)
- 応募資格/問いません。
- 作品の規定/作品の色数は、複色(4色まで)でも単色(モノクロ)でも使用可能なものとし、作品の点数は、お一人2点まで。
・イメージする図形やイラストと文字列を切り離しても使用可能なデザインのもの。
・A4版の白色の紙に手書きもしくはプリントアウトした作品を提出してください。
・自作、未発表の作品で他の著作権や商標を侵害しないものに限り、
・パソコン等で作成した場合は、電子データを添付してください。データは「FD」、「MO」、「CD」に記録し、使用したアプリケーション名を明記してください。
・なお、採用にあたり若干の修正をさせていただくことがあります。

- 表彰/最優秀作品及び優秀作品に、賞状と副賞を授与します。
副賞○最優秀作品 1点 賞金10万円 ○優秀作品 1～3点 賞金5万円
- 応募方法/「応募用紙」に必要事項を記入のうえ、作品とともに郵送もしくは下記応募先まで直接お持ちください。メールでの受付は行いません。応募用紙はつぎのURLからダウンロード可能です。http://www.utsunomiya-u.ac.jp/news/2006/n_061031.pdf
- 応募メ切/平成19年1月31日(水)
- 受賞者発表/平成19年4月9日(月)入学式にて発表するとともに、学内掲示、本学ホームページ上で氏名を発表する予定です(宇都宮大学の学生の場合は、所属学部・学年も合わせて発表します)。
- 選考/宇都宮大学在学学生を含む学内に設置する選考委員会により厳正に審査いたします。
- その他
・応募の際に提出された個人情報、適切に管理し、応募作品の審査・受賞者発表以外の目的で利用することは一切ありません。
・採用された作品の一切の権利は宇都宮大学に移譲願います。
・応募作品は返却しません。
・宇都宮大学ロゴマークとして適当なものがない場合は、受賞作品該当なしの場合があります。
- お問合せ・応募先
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学総務部総務課企画広報係 TEL 028-649-8649



研究 Keyword

子どもたちの教育の国際化?

国際学部 田巻 松雄

PROFILE

筑波大学第一学群社会学類卒業/
筑波大学大学院博士課程社会学
研究科社会学専攻退学/社会学博
士/専門分野:国際社会学、政治
社会学、地域社会学

宇都宮大学国際学部教授 田巻 松雄



昨年度のシンポジウムの様子



「ニューカマー」と呼ばれる外国人労働者の本格的な流入から、ほぼ20年が経ちました。かれらは就労を目的とする一時的な滞在者ではなく、長期的な居住者としての性格を強めてきています。この結果、日本の中小学校に通う外国人の子どもたちも増えてきました。日本における外国人登録者数は、1990年代の始めでは約100万人でしたが、2005年末現在では200万人を超えています。そして、現在、15歳未満の外国人登録者はほぼ19万人に達しています。

日本では、学齢期の子どもが学校へ行くことは、「あたりまえ」の時代です。日本国憲法は「すべて国民は……保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ」(26条2項)と定め、「教育を受ける権利」を保障しています。また、日本は国際人権規約、子どもの権利条約に批准しており、「教育への権利」を国際条約によっても保障しています。

外国人の子どもの場合は、様々な問題に直面しているようです。学校に行っても日常会話的な日本語すら分らない、日常会話はできていても学習言語が不十分で教科書の内容に興味を持てない、進路への悩み、友達ができなくてドロップアウトしてしまう、そして、学校に行かないで非行化する……。

外国人の子どもの場合は将来日本社会の一員になるかもしれないし、帰国するかもしれない。しかし、いずれにせよ、何人も地球社会の一員として教育を受ける権利があるとの認識に立つて、あらゆる国や自治体は教育の機会を提供・保障するために最善の努力を行うべきでしょう。しかし、どんな教育を? 日本人と同様の教育が良い? 複雑な問題が交差するなか、出自の文化を多少とも異にし、今後必ずしも日本に住み続けるとは限らない子どもたちに、学校はどのような教育を行うべきかという課題が問われているのです。

外国人児童生徒の教育環境をめぐる問題 栃木県内の現状と課題(報告書及び資料集)としてまとめました。今年度は、特に群馬県との比較を念頭に置きながら、調査研究を進めています。

在日外国人の増加 多国籍化、滞在の長期化に伴い、日本の

外国人児童生徒の教育環境をめぐる研究は、これまで、日本語教育や不就業問題という特定のテーマに焦点をあてたもの、あるいは特定の地域ないし特定の国の出身者を対象にしたものを中心で、総合的視野に立ったものはまだまだ少ないのが現状です。そこで、宇都宮大学の重点推進研究の一つとして、平成16年度より栃木県を対象に外国人児童生徒の教育環境をめぐる問題を多面的に捉えるための実態調査を行っています。現状の問題点を整理し、今後の対応を探ることが大きな目的です。

平成16・17年度には、外国人児童生徒教育拠点校に在籍する児童生徒及び日本語指導教員を対象にした「学校調査」、13市における外国人児童生徒の就学手続きと就学状況に関する「行政調査」、外国人児童生徒の保護者を対象にした「保護者調査」を実施しました。

その結果は、「外国人児童生徒の教育環境をめぐる問題 栃木県内の現状と課題」(報告書及び資料集)としてまとめました。今年度は、特に群馬県との比較を念頭に置きながら、調査研究を進めています。

最後に、宇都宮大学国際学研究所は、平成19年4月より博士後期課程を開設すべく準備を進めています。以上のような「子どもたちの教育の国際化」に関心を持つ人材が入学してくることを大いに期待しています。

外国人児童生徒の教育環境をめぐる問題に関する調査結果について、その成果が評価され、全国の注目を集めました。座談会ではその地域貢献の一例をご紹介します。是非ご覧ください。

また、これまで本学が力を入れてきた地域貢献について、その成果が評価され、全国の注目を集めました。座談会ではその地域貢献の一例をご紹介します。是非ご覧ください。



外国人児童生徒教育拠点校の日本語教室

UU laboratory

●シンポジウム● 栃木県における外国人児童生徒の教育の明日を考える2006

外国籍の子どもの数は年々増加し、日本語教育等の教育環境整備が求められています。昨年に引き続き、外国籍の子どもたちの教育環境問題を様々な角度から地域の皆様と一緒に考えていくためのシンポジウムを開催します。どうぞふるってご参加ください。
日時:12月2日(土) 13:00~17:30(受付12:30~)
場所:宇都宮大学 B棟1121教室
対象:外国人児童生徒の教育をめぐる問題に関心のある方など、どなたでもご参加いただけます。

入場無料

13:00~ 報告
「群馬県太田市における外国人児童生徒教育への取組み」
根岸 親氏(太田市教育委員会学校指導課)
「外国人児童生徒教育の現状-今、誰が何をすべきかを考える」
若林秀樹氏(小山市立小山第三中学校教諭)
「在日ペルー人の家庭環境とコミュニケーションをめぐる問題」
イルマ・フロレンス・フロレンス(宇都宮大学大学院国際学研究所)
15:15~ パネルディスカッション
「栃木県における外国人児童生徒の教育の明日を考える」
学校教員、行政関係者など数名のパネラーを予定。
主催:宇都宮大学平成18年度重点推進研究
「外国籍の子どもたちの教育・生活環境をめぐる問題~栃木県内事情の総体的な把握と地域的な課題・対応についての実証的・理論的考察~」
(研究代表者:田巻松雄)
後援:栃木県教育委員会
お問い合わせ:宇都宮大学国際学部 田巻松雄研究室
TEL 028-649-5191 E-mail: tamakim@cc.utsunomiya-u.ac.jp

UU Now
編集後記
2006 Autumn

企画・編集
宇都宮大学広報室
DUNOW第7号編集委員
編集長 水本忠武
理事 企画戦略担当
学術顧問、第7号をお届けします。
フロントページには、本学出身、人気上昇中のロックバンド「キャプテンストライダム」が登場していただきました。学生生活を謳歌し、迷いながらも自分達の進むべき道を見出した彼らの姿は、きっと皆さんを勇気付けてくれることでしょう。皆さん、峠ヶ丘祭の凱旋ライブでは大いに盛り上がりませんか。
また、これまで本学が力を入れてきた地域貢献について、その成果が評価され、全国の注目を集めました。座談会ではその地域貢献の一例をご紹介します。是非ご覧ください。
これからも「地域に学び、地域に返す」をモットーに、地域の皆様にあやされる大学を目指します。
編集長 水本忠武

編集委員
中山 未来 農学部4年
廣田 真人 農学部2年
石浜 昌宏 国際学部教員
佐々木英和 生涯学習センター教員
今泉 繁良 工学研究科教員
野口 良造 農学部教員
青木 正克 農学部教員
國府田 治 農学部教員
田嶋 正憲 農学部教員
五月女優子 農学部教員
高野 浩一 農学部教員
大内 知行 農学部教員
茂木 博 農学部教員
編集協力 ビオス編集室

■広報室では、皆様の声をお待ちしております。ご意見・ご要望などをお寄せください。
【宛先】
宇都宮大学 総務部総務課 企画広報係
〒321-8505 宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026
E-mail plan@miya.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学
GO!